

地域と大学

第27号

Newsletter No.27, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

着任のご挨拶

イノベーション社会連携推進機構

(地域連携生涯学習部門)・准教授 石川 宏之

この度、8月1日に着任しました。専門分野は、都市計画・建築計画・博物館学で、後期から学芸員養成課程科目で博物館概論と博物館経営論を担当します。

これまでの研究テーマとして、博物館・美術館・図書館の運営形態や市民の利用状況を把握し、活動を活性化するための研究を行ってきました。また、地方都市の中心市街地で、民間によって構成された地域の組織が主体となって、インフラ整備、景観形成、店舗対策、事業支援、イベント開催などの取り組みを通じて、中心市街地を活性化させる研究をしてきました。さらに近年では、東日本大震災の被災地で地域振興のためにジオパーク(大地の公園)において減災教育と観光振興に災害遺構を活かすための研究を行っています。

着任後は、静岡県内で官学民協働のジオパーク推進協議会を通じたジオサイトの調査研究・保護・教育・ジオツアーを行う際に、地域で持続可能な発展をさせる条件と課題を明らかにし、近い将来に起こる東海地震と津波の被害を軽減するために研究成果を活かしていきます。また、地元新聞社や企業と連携した講座でガイド養成講座を開講し、高齢者が子どもたちと地域の自然・文化・災害の歴史について語り合える教育プログラムを実施したいと思います。本学の学芸員養成課程を受講した学生にも参画してもらい、静岡県内で地域社会の成員として誇りに思える新たなジオパークを展開していきたいと考えています。

今後、静岡県内および三陸海岸の被災地をフィールドとして調査研究活動と生涯学習を通じた地域連携を推進していきたいと思っています。何卒、よろしくお願い申し上げます。

◎プロフィール

経歴：横浜国立大学大学院博士課程後期修了、日本学術振興会特別研究員(PD)、英国国立レスター大学客員研究員、川崎市政策課題専門調査員、八戸工業大学准教授を経て現職。

所属学会：日本建築学会、日本都市計画学会、全日本博物館学会、日本ミュージアム・マネージメント学会
 著書・論文：『エリアマネジメント』(学芸出版)、『博物館教育論』(ぎょうせい)、「展示順序と観覧者の認知における差異の考察」(日本建築学会)、「地域振興に地域遺産を活かすためのミュージアム活動によるエリアマネジメントに関する研究」(日本都市計画学会)、「地方都市における街なか居住の現状と推進方策に関する研究」(日本都市計画学会)、「英国のザ・ラウリー・プロジェクトによる都市再生とエリアマネジメント」(日本ミュージアム・マネージメント学会)ほか多数。
 社会貢献：静岡市立登呂博物館協議会委員、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会副会長、八戸市復興計画推進市民委員会委員。その他、八戸市都市計画審議会会長、八戸市博物館協議会副会長、八戸市中心市街地活性化基本計画策定委員会委員、青森県都市計画マスタープラン検討委員会委員、青森県住宅政策検討委員会委員、青森県立郷土館協議会委員、(社)日本建築学会東北支部常議員などを歴任。



2013年度静岡大学公開講座が開催中です

今年度の公開講座は、下の表のとおり、5月から翌年2月にかけて多彩な11講座を開催しています。それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座となっています。東西に長い静岡県の地形を考慮し、静岡、

浜松、沼津など、静岡県の県内各所で開講し、静岡キャンパス、浜松キャンパスをはじめ、アイセル21（静岡市葵生涯学習センター）や沼津市民文化センターなどが会場となっています。

| 講座名 | 講師 | 日時 | 会場 | 対象 | 定員 | 受講料 | 主催 |
|----------------------------|--|--|-------------------------------|--|----|------|----|
| 次世代をめぐるケアを考える～育児・教育・医療～ | 人文社会科学部教授・荻野達史 人文社会科学部講師・畠垣智恵 人文社会科学部准教授・吉田崇 人文社会科学部准教授・橋本剛 人文社会科学部教授・船橋恵子 | 5/23・5/30・ 6/6・6/13・6/20 (木) 18:30～20:00 | アイセル21(葵生涯学習センター) | 興味のある方ならどなたでも | 30 | 800 | 人 |
| 情報学アラカルト講座2013 | 情報学研究科教授・シェフタル 情報学研究科准教授・高橋晃 情報学研究科准教授・桐山伸也 | 11/9(土) 10:30～12:00 | 浜松キャンパス | 興味のある方ならどなたでも | 50 | 無料 | 情 |
| 体験!大学の化学実験 | グリーン科学技術研究所グリーンケミストリー研究部門教授・近藤満 | 8/3(土)・8/4(日)・ 8/10(土) 10:00～16:00 | 静岡キャンパス | 中学生以上 | 30 | 無料 | イ |
| 遺伝子の世界を見よう | グリーン科学技術研究所研究支援室准教授・道羅英夫 グリーン科学技術研究所研究支援室特任助教・鈴木智大 | 12/25(水) 10:00～17:00 12/26(木) 10:00～15:00 | 静岡キャンパス | 県内高校生(2日間とも参加できる方) | 20 | 無料 | グ |
| 災害を知り、防災を考える | 防災総合センター客員教授・鶴川元雄 防災総合センター准教授・原田賢治 理学研究科教授・北村見寿 | 9/7・9/14・9/28 (土) 14:00～16:00 | 沼津市民文化センター | 一般市民 | 50 | 無料 | イ |
| 静大キャンパス探訪～静岡キャンパスの自然～ | 理学研究科教授・和田秀樹 理学研究科准教授・徳岡徹 理学研究科学術研究員・加藤英明 教育学部教授・小南陽亮 | 10/5・10/12・ 10/19・10/26(土) 10:00～12:00 | 静岡キャンパス | 一般市民・学生・小中高生(中学生以下は保護者同伴) | 20 | 無料 | キ |
| いもに親しもう!～サツマイモの収穫・調製教室～ | 農学研究科助教・浅井辰夫 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子 | 11/2(土) 9:00～12:00 | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド | 小学生以上 | 20 | 500 | 農 |
| 家庭果樹を楽しもう!!～果樹のせん定教室～ | 農学研究科助教・八幡昌紀 農学研究科客員教授・高木敏彦 技術部技術専門職員・増田幸直 技術部技術専門職員・成瀬博規 | 2014/2/26(水) 10:00～15:00 | 農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールド | 高校生以上 | 15 | 1500 | 農 |
| 安心登山のための読図とナビゲーションスキル(初級編) | 教育学部教授・村越真 オリエンテーリング日本代表選手・小泉成行 | 5/18(土) 9:30～16:00 | 静岡キャンパス及び周辺の里山 | 登山・アウトドア活動を行う一般市民 | 25 | 3000 | 教 |
| 安心登山のための読図とナビゲーションスキル(中級編) | 教育学部教授・村越真 プロアドベンチャーレーサー・宮内佐季子 | 10/5(土) 9:30～16:00 | 屋外(詳細については受講者にお知らせします) | 登山・アウトドア活動を行う一般市民(過去に初級編を受講した者、又は地形図の基礎知識のある登山経験者) | 18 | 4000 | 教 |
| 小学校外国語活動スキルアップ講座Ⅵ | 教育学部教授・矢野淳 | 8/16(金) 10:00～16:00 | 静岡キャンパス | 静岡県内の小・中・高・特別支援学校教員 | 25 | 500 | 実 |

[主催欄凡例]

①=イノベーション社会連携推進機構(地域連携生涯学習部門) 人=人文社会科学部 情=情報学部
グ=グリーン科学技術研究所 キ=キャンパスミュージアム 農=農学部 教=教育学部 実=教育学部附属教育実践総合センター

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学・読売新聞連続市民講座「グローバル化時代を生きる」

| 回 | 開催日 | タイトル | 講師 | 参加者 |
|---|-----------|-----------------------------------|------------------------|-----|
| 1 | 7/27 (土) | 多文化共生社会に求められる異文化理解能力 | 原沢伊都夫 (静岡大学国際交流センター教授) | 178 |
| 2 | 8/31 (土) | 次世代を産み育てる新しい社会に向かって ～フランスとの比較～ | 船橋恵子 (静岡大学人文社会科学部教授) | — |
| 3 | 9/28 (土) | マントル掘削～地球規模の物質循環を探る～ | 道林克禎 (静岡大学大学院理学研究科教授) | — |
| 4 | 10/19 (土) | グローバル時代の「共同体」 | 金明美 (静岡大学大学院情報学研究科准教授) | — |
| 5 | 11/30 (土) | 「新しい公共」と地域づくり | 日詰一幸 (静岡大学人文社会科学部教授) | — |

■会 場：あざれあ (静岡県男女共同参画センター) 6F 大ホール

■参加費：無料

■時 間：14:00～16:00

■主 催：静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

2013年度地域連携応援プロジェクトが始動しました

学内の学生・教職員を対象に「地域連携応援プロジェクト」を募集し、14件の応募がありました。そのうち、12件のプロジェクトを今回の募集経費枠内で採択しました。

これらの取り組みが進むことにより、学生・教職員の主体的な地域連携活動が促進され、地域とより密接に連携した静岡大学になることを期待しています。

プロジェクトの成果報告として、今年度末に成果報告書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

採択したプロジェクト一覧

| 部局 | 代表者 | プロジェクト名 |
|----------|--------|--|
| 教育学部 | 塩田 真吾 | 清水駅前銀座商店街と連携した「お仕事体験プログラム」の実施と普及 |
| 教育学部 | 河村 道彦 | 豊岡に学び、異文化に触れる「しきじ土曜倶楽部」支援プロジェクト |
| 教育学部 | 志民 一成 | 遊びや体験活動を通して学びに熱中する子供育成の場「ちびっこ寺小屋」プロジェクト |
| 教育学部 | 洪江 かさね | 社会教育事業を通して「つながり」の創出をめざす学習支援者の力量形成 |
| 教育学部 | 杉山 康司 | 静岡市沼上資源循環センター啓発施設を利用した親子運動あそび教室 |
| 教育学部 | 藤井 基貴 | 「リベラルアーツカフェ～静岡の教養～」による「哲学カフェ」のプログラム開発および実践 |
| 教育学部 | 北山 敦康 | 小・中学校と連携した日本伝統音楽の普及プログラム |
| 教職大学院 | 矢崎 満夫 | 学生ボランティアによる「多文化共生のためのつながりづくり」プロジェクト |
| 教育学部 | 熊野 善介 | 静岡STEMジュニアプロジェクト「サマー STEM キャンプ」 |
| 技術部 | 井上 直巳 | Let's Try 科学実験 |
| 大学教育センター | 須藤 智 | 静岡県内の企業との連携による県内インターンシップの高度化プロジェクト ～県内企業のインターンシップの求人票一元化のためのWebデータベースの構築～ |
| 理学研究科 | 瓜谷 眞裕 | 体験型複合的理数教育プログラム「三本の矢」による理系人材の発掘と育成事業 |

2013年度上半期（4月～8月）の事業報告

主催事業

地域連携応援プロジェクト 公募説明会/前年度成果報告会

本機構では、静岡大学「地域連携応援プロジェクト」として、学生・教職員が主体となり、地域団体や自治体等と協働して取り組む、地域の活性化につながる活動を募集し、支援しています。

2012年度は11件を採択しました。今年度5月に、新たなプロジェクトの公募説明会を兼ねて、2012年度のプロジェクト（代表の3グループ）の成果報告発表を行いました。

- ・日時：2013年5月9日（木）13:00～14:45
- ・会場：[静岡キャンパス]共通教育A棟301教室
[浜松キャンパス]イノベーション社会連携推進機構棟1階カンファレンスルーム
※遠隔テレビシステムで2会場同時に開催

・プログラム：

プロジェクト概要説明

2012年度プロジェクト成果報告

①「幼児指導絵本『あそび』と静岡の絵本文化」

代表者：平野雅彦（人文社会科学部）

②「ものづくりを通しての環境啓発プロジェクト」

代表者：井上直己（技術部）

③「静岡市版『まちのお仕事図鑑』を活かしたキャリア教育プログラムの開発と普及」

代表者：塩田真吾（教育学部）

・参加者数：23人

・参加費：無料

公開セミナー

「学んで楽しい！大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることが出来ることを目的に、「学んで楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

・日時：2013年6月23日（日）9：10～12：15

・プログラム：

“学びのパートナー” 自己紹介タイム

[演習]「アイスブレイク～学びのななかま～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭）

[講義①]「地震と津波の話」講師：小澤邦雄（静岡大学防災総合センター特任教授）

[講義②]「くだもの（果実）は何でできている？－花とくだもの（果実）を科学の目でみる－」講師：小南陽亮（静岡大学教育学部理科教育講座教授）

・参加料：無料

・参加者数：56人

・会場：静岡大学学生会館3Fホール

・主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構
（地域連携生涯学習部門）

・企画：静岡県障害者就労研究会

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2013年度前学期の開講場所別の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

| 開講科目数 | | | 受講者数 | | |
|---------|---------|-----|---------|---------|-----|
| 静岡キャンパス | 浜松キャンパス | 合計 | 静岡キャンパス | 浜松キャンパス | 合計 |
| 200 | 38 | 238 | 146 | 31 | 177 |

地域と大学 第27号

発行日——2013年8月31日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
（地域連携生涯学習部門）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

（理学部B棟1階）

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

（事務局）学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4317